

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 福山鑄造株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒714-0048 岡山県笠岡市緑町3番2
----	-------------------------	----	---

本票作成	部署名：生産管理部
------	-----------

主たる業種	分類コード	22	業種名：鉄鋼業
-------	-------	----	---------

事業の概要	鑄鉄鑄物製造業（鑄鉄管、可鍛鑄鉄を除く） 従業員：約90人
-------	-------------------------------

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	笠岡工場	岡山県笠岡市緑町3番2

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度(平成29年度)	(令和2)年度排出量	目標年度(令和2年度)
	9,928 t CO ₂	5,311 t CO ₂	9,630 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和2)年度排出量
	①	笠岡工場	5,311 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	平成30年度	～	令和2年度	(3箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(2)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	11.9 %	3.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	<input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 溶解重量 (t)	原単位当たり排出量		
		基準年度	(2)年度	目標年度
		0.745 t CO ₂ /(t)	0.656 t CO ₂ /(t)	0.722 t CO ₂ /(t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和2年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

- ・生産量がコロナ禍等の影響により対基準年度比60.7%と大幅に減少した。それに伴いエネルギー使用量が原油換算で64.8%減少したことでCO₂削減に至った。(CO₂発生の内、電力割合は92.7%)
- ・生産量の減少に伴い、溶解炉の稼働率及び効率の低下が見られたが、運用見直し等により改善に努めた。
- ・最大需要電力の契約見直し等(5,320kw→5,300kw)電力負荷の平準化・ピークカット等きめ細やかな電力使用管理を行い、電力使用量の削減に努めた。

【推進体制】

- ・省エネルギー管理組織：代表者をトップに省エネ活動を全員参加で実施する。
- ・省エネルギー委員会：エネルギー使用について、分析、検証を行い省エネを実施する。
- ・不良品低減委員会設置：製造工程から見直しを行い、不良品の低減に努める。
- ・省エネルギーに関する専門家から、機会あるごとに診断を受ける。

受信履歴 設備診断およびエアリーク調査 中国電力（2020年度）

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
笠岡工場	<p>(令和2年度 実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空気圧縮機75kwを運用改善の上、非常予備機として停止運用する。 年間36日、約1,500時間停止 (CO₂削減量 45 ton/年) ・溶解炉立上げ3基中1基を年間20%停止する。 年間25日、約200時間停止 (CO₂削減量 48 ton/年) <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空気圧縮機75kwを運用改善の上、非常予備機として停止運用する。 (CO₂削減量 67 ton/年) ・溶解炉立上げ3基中1基を年間20%停止する。(CO₂削減量 91 ton/年) ・溶解炉冷却水ポンプ運転を夜間は52kwから11kwに変更する。 (CO₂削減量 72 ton/年) ・変圧器をトップランナー変圧器に更新する。 (CO₂削減量 4.8 ton/年) ・今後ともPDCA技法などを利用し、積極的にCO₂の削減に取り組む。

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

継続事項

- ・冷暖房の消費電力低減のため、クールビズ・ウォームビズ運動に取り組む。
- ・社有車及び私有車に対して、アイドリングストップ運動を啓蒙する。